

# あけまして おめでとうございませう

## 町長 徳永 哲雄



新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、令和5年の新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は町政全般にわたりまして、深いご理解とご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

令和2年から続く新型コロナウイルス感染症は未だ収束を見せておりませんが、本町におきましては、国の指針に沿ったワクチンの集団接種を昨年末までに終えたところであり、医師、看護師、並びに接種業務に携わっていただきました多くの皆さまのお力添えと町民の皆さまのご協力に、深く感謝申し上げます。

コロナ禍に加え、ロシア・ウクライナ問題などの社会情勢の変化は、原油価格・物価高騰など、大きな課題と

なっており、町の基幹産業である観光・農業のほか、私たちの暮らしに甚大な影響を及ぼしております。町では、皆さまの負担軽減のため、物価高騰支援事業などの施策に取り組んでまいりましたが、本年も時局を見極めながら引き続き各種支援を行ってまいります。

昨年は、阿寒摩周国立公園の弟子屈エリアがゼロカーボンパークの認定を受けました。ゼロカーボンシティを宣言している本町として、引き続き適切な自然環境の保全に努めるとともに、持続可能な観光地としての取り組みを推進してまいります。夏には、摩周湖第一展望台のレストハウスが新たな注目施設「摩周湖カムイテラス」としてリニューアルオープンいたしました。冬の星空観察も素晴らしいもので、町

民の皆さまにも改めて足を運んでいただければ幸いです。

「ふるさと納税」につきましても好調を維持しております。「摩周和牛」や地場産ワイン「葡萄酒（えびいろ）」の旦（よあけ）など弟子屈ブランドの返礼品も好評を得ております。

本年は、川湯保育園建設事業、弟子屈中心市街地複合型地域観光交流拠点施設の実施設設計、コタン地域の整備事業などに着手してまいります。町民の皆さまにとりまして住みよいまちとなりませう、引き続き、川湯温泉街再整備をはじめ、次代を担う子供たちへの支援、公営住宅などの建替事業など、暮らしに直結する各重要施策などへの取り組みにつきましても推進してまいります。

また、昨年策定いたしました「第6次弟子屈町総合計画」がスタートしております。新しい生活様式のもと、弟子屈町での暮らしが快適に継続できるよう、地域・行政が一体となったまちづくりを推進してまいります。

町政を担わせていただき6期目も折り返しとなりましたが、就任から一貫して「公正と融和」「結束と行動」を信条とし、「豊かさ」や「幸せ」を実感できる「まちづくり」に邁進させていただいております。今後も、皆と共に考え、行動し、着実な歩みを進めてまいりますと存じます。

新春の門出にあたり、皆さまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。



## 町議会議長 近江屋 茂



町民の皆さま、あけましておめでとうございます。令和5年の新春を迎えるにあたり、町議会議長を代表し謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで新年をお迎えになられたことを、心よりお喜び申し上げます。また、日頃から町議会に対する格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルスの規制が緩和され経済活動が再開しましたが、北海道では1日の感染者数が1万人を超える日もあり、今後も感染対策をしっかり講じて行かなければならないところがあります。

また、物価の上昇は原材料価格の高騰に始まり、燃料やエネルギー価格も上昇、円安による輸入コストの増加など、家計のみならず、さまざまな分野での負担が増す一方です。

このようなことから、地方自治体を取り巻く環境も依然として厳しい状況にあります。

今後におきましても、わが町の発展のため執行機関と向き合い、住民の代表機関としての議会の機能を果たし、さまざまな課題の解決に努力を重ねてまいりたいと存じますので、町民の皆さまの一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新たな年が皆さまにとって、さらなる飛躍と充実の年でありませう、ご清祥とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

## 謹賀新年

### 弟子屈町議会

- 議長 近江屋 茂
- 副議長 高橋 正秀
- 議員 八幡 豊行
- 議員 小川 義雄
- 議員 鈴木 康弘
- 議員 高砂 弥生
- 議員 三上 務
- 議員 武山 秀樹
- 議員 徳永 則行
- 議員 大道 賞二
- 議員 萩原 寛暢

## 実り多い一年を願って

## 町教育委員会教育長 岩原 勝行



あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健康やかに新年を迎えるのこととお慶び申し上げます。

また、日ごろから、本町の子どもの学びや、生涯学習の推進などに、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年も、新型コロナウイルスの感染動向を注視しながら、制約の多い中で、教育施策の展開となりました。

学校教育におきましては、児童・生徒だけでなく保護者も楽しみにしていた運動会や学芸会、修学旅行なども、十分に感染防止対策を取ったうえで、おおむね実施することができました。タブレットを使った学習活動も着実に進んでおり、ウイズコロナの時代でもあります。

社会教育活動においては行動制限の緩和を受け、コロナ禍以前には及ばないものの、児童生徒合

同芸術鑑賞事業をはじめ、多くの活動を実施することができました。特にトレッキングやカヌーなどの自然体験事業や豪華列車試乗体験をはじめとする青少年健全育成事業は新たな取り組みの形が見え始めており、今後の展開に期待しております。

本年におきましても感染対策に充分留意しながら、創意工夫を凝らし、幅広い世代の皆さまに楽しんでいただけるような事業を実施してまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして、輝きあふれ、実り多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。

## 謹賀新年

- 弟子屈町教育委員会
- 教育長 岩原 勝行
- 教育長職務代理者 金井 秀明
- 委員 菅原 誓之
- 委員 吉田 一徳
- 委員 宮田 昇子